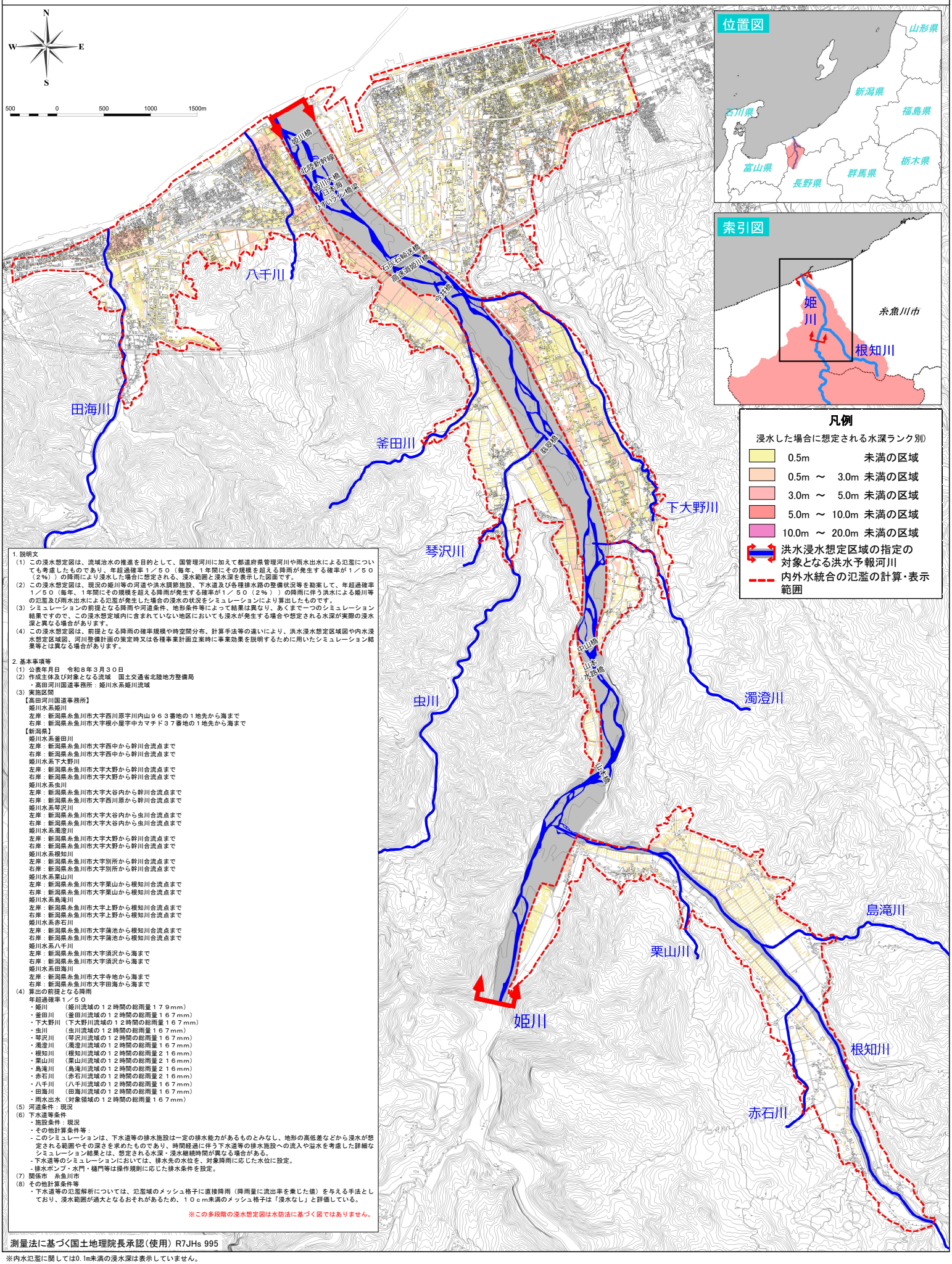
姫川水系　内外水統合の浸水想定図（1/50規模降雨）
【現況河道】



1. 説明文

（1）この浸水想定図は、流域治水の推進を目的として、国管理河川に加えて都道府県管理河川や雨水出水による氾濫についても考慮したものであり、年超過確率１／５０（毎年、１年間にその規模を超える降雨が発生する確率が１／５０（２%））の降雨により浸水した場合に想定される、浸水範囲と浸水深を表示した図面です。

（2）この浸水想定図は、現況の姫川等の河道や洪水調節施設、下水道及び各種排水路の整備状況等を勘案して、年超過確率１／５０（毎年、１年間にその規模を超える降雨が発生する確率が１／５０（２%））の降雨に伴う洪水による姫川等の氾濫及び雨水出水による氾濫が発生した場合の浸水の状況をシミュレーションにより算出したものです。

（3）シミュレーションの前提となる降雨や河道条件、地形条件等によって結果は異なり、あくまで一つのシミュレーション結果ですので、この浸水想定域内に含まれていない地区においても浸水が発生する場合や想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。

（4）この浸水想定図は、前提となる降雨の確率規模や時空間分布、計算手法等の違いにより、洪水浸水想定区域図や内水浸水想定区域図、河川整備計画の策定時又は各種事業計画立案時に事業効果を説明するために用いたシミュレーション結果等とは異なる場合があります。

2. 基本事項等

（1）公表年月日　令和８年３月３０日

（2）作成主体及び対象となる流域　国土交通省北陸地方整備局
・高田河川国道事務所：姫川水系姫川流域

（3）実施区間
【高田河川国道事務所】
姫川水系姫川
左岸：新潟県糸魚川市大字西川原字川内山９６３番地の１地先から海まで
右岸：新潟県糸魚川市大字根小屋字中カマチド３７番地の１地先から海まで
【新潟県】
姫川水系釜田川
左岸：新潟県糸魚川市大字西中から幹川合流点まで
右岸：新潟県糸魚川市大字西中から幹川合流点まで
姫川水系下大野川
左岸：新潟県糸魚川市大字大野から幹川合流点まで
右岸：新潟県糸魚川市大字大野から幹川合流点まで
姫川水系虫川
左岸：新潟県糸魚川市大字大谷内から幹川合流点まで
右岸：新潟県糸魚川市大字西川原から幹川合流点まで
姫川水系琴沢川
左岸：新潟県糸魚川市大字大谷内から虫川合流点まで
右岸：新潟県糸魚川市大字大谷内から虫川合流点まで
姫川水系濁澄川
左岸：新潟県糸魚川市大字大野から幹川合流点まで
右岸：新潟県糸魚川市大字大野から幹川合流点まで
姫川水系根知川
左岸：新潟県糸魚川市大字別所から幹川合流点まで
右岸：新潟県糸魚川市大字別所から幹川合流点まで
姫川水系栗山川
左岸：新潟県糸魚川市大字栗山から根知川合流点まで
右岸：新潟県糸魚川市大字栗山から根知川合流点まで
姫川水系島滝川
左岸：新潟県糸魚川市大字上野から根知川合流点まで
右岸：新潟県糸魚川市大字上野から根知川合流点まで
姫川水系赤石川
左岸：新潟県糸魚川市大字蒲池から根知川合流点まで
右岸：新潟県糸魚川市大字蒲池から根知川合流点まで
姫川水系八千川
左岸：新潟県糸魚川市大字須沢から海まで
右岸：新潟県糸魚川市大字須沢から海まで
姫川水系田海川
左岸：新潟県糸魚川市大字寺地から海まで
右岸：新潟県糸魚川市大字田海から海まで

（4）算出の前提となる降雨
年超過確率１／５０
・姫川　（姫川流域の１２時間の総雨量１７９mm）
・釜田川　（釜田川流域の１２時間の総雨量１６７mm）
・下大野川（下大野川流域の１２時間の総雨量１６７mm）
・虫川　（虫川流域の１２時間の総雨量１６７mm）
・琴沢川　（琴沢川流域の１２時間の総雨量１６７mm）
・濁澄川　（濁澄川流域の１２時間の総雨量１６７mm）
・根知川　（根知川流域の１２時間の総雨量２１６mm）
・栗山川　（栗山川流域の１２時間の総雨量２１６mm）
・島滝川　（島滝川流域の１２時間の総雨量２１６mm）
・赤石川　（赤石川流域の１２時間の総雨量２１６mm）
・八千川　（八千川流域の１２時間の総雨量１６７mm）
・田海川　（田海川流域の１２時間の総雨量１６７mm）
・雨水出水（対象領域の１２時間の総雨量１６７mm）

（5）河道条件：現況

（6）下水道等条件
・施設条件：現況
・その他計算条件等：
- このシミュレーションは、下水道等の排水施設は一定の排水能力があるものとみなし、地形の高低差などから浸水が想定される範囲やその深さを求めたものであり、時間経過に伴う下水道等の排水施設への流入や溢水を考慮した詳細なシミュレーション結果とは、想定される水深・浸水継続時間が異なる場合がある。
- 下水道等のシミュレーションにおいては、排水先の水位を、対象降雨に応じた水位に設定。
- 排水ポンプ・水門・樋門等は操作規則に応じた排水条件を設定。

（7）関係市　糸魚川市

（8）その他計算条件等
・下水道等の氾濫解析については、氾濫域のメッシュ格子に直接降雨（降雨量に流出率を乗じた値）を与える手法としており、浸水範囲が過大となるおそれがあるため、１０ｃｍ未満のメッシュ格子は「浸水なし」と評価している。

※この多段階の浸水想定図は水防法に基づく図ではありません。

測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R7JHs 995

※内水氾濫に関しては0.1m未満の浸水深は表示していません。